



平成24年6月28日

各 位

上場会社名 株式会社 小島鐵工所
 代表者 代表取締役社長 児玉 正蔵
 (コード番号 6112)
 問合せ先責任者 取締役執行役員経理部長 田中 教司
 (TEL 027-322-1221)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成24年1月17日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしますのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成24年11月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成23年12月1日～平成24年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	750	20	30	20	2.00
今回修正予想(B)	818	△10	2	1	0.15
増減額(B-A)	68	△30	△28	△19	
増減率(%)	9.1	—	△93.3	△95.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年11月期第2四半期)	352	△244	△222	△221	△22.08

平成24年11月期通期個別業績予想数値の修正(平成23年12月1日～平成24年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,800	50	70	40	4.00
今回修正予想(B)	1,500	10	20	10	1.00
増減額(B-A)	△300	△40	△50	△30	
増減率(%)	△16.7	△80.0	△71.4	△75.0	
(ご参考)前期実績 (平成23年11月期)	1,206	△273	△238	△240	△24.02

修正の理由

当社の主製品である大型油圧プレス機は、形状、能力、機能のほか、納期、一台当たりの金額もそれぞれ異なる個別受注生産でありますので、月単位での売上は一定しておらず、季節的変動によるものでもなく、納期的、金額的なバラツキにより売上の変動が大きくなるのが当社の事業の特性であります。

このような事業の特性を持つ当社におきまして、当112期第2四半期累計期間における売上高につきましては、海外向け大型機械売上を中心に順調に推移し、前回発表予想数値7億5千万円及び前年同期3億52百万円を上回る8億18百万円を達成する見込みであります。

利益面につきましては、原価低減を始め、人件費等諸経費全般に亘り削減に努めてまいりました結果、業界の受注競争が激しく、引き続き好採算物件が少ない状況下でありながらも、前年同期の損失(2億21百万円)を大きく改善し、低水準ながら若干黒字化の見込みではありますが、発表予想数値(20百万円)には及ばず、表記の四半期純利益(1百万円)に減額修正するものであります。

なお、受注状況につきましては、現在回復傾向にあり、第2四半期累計期間の受注高は、海外向けを中心に前年同期(9億36百万円)を上回る11億82百万円の受注を、受注残高に関しましても前年同期末(11億48百万円)と同水準の11億円を各々確保できる見込みであります。現在、国内外を中心に10億円台の引き合いが浮上しており、この成約に向けて努力しているところであります。

平成24年11月期通期個別業績予想につきましても、第2四半期累計の減額修正に伴い、通期予想数値を表記の通り減額修正するものであります。

* 上記予想は、現時点に於いて、入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって、予想数値と異なる結果になる可能性があります。

以上